

歯は健康のバロメーター

～歯の大切さを知っていますか？～



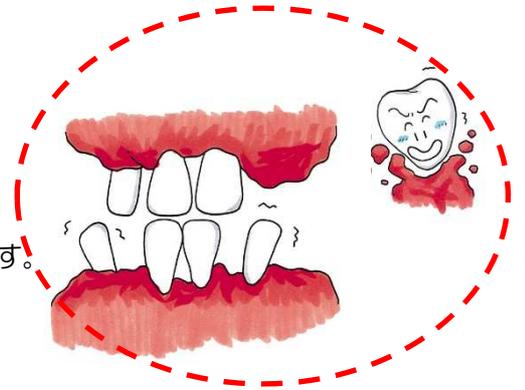
歯の病気が全身に及ぼす影響



歯周病は単なる口の病気ではありません。最近、様々な研究により、歯周病と全身の健康との関係が分かってきました。

例えば、糖尿病の人には歯周病になっている人が多く、逆に歯周病の状態が悪くなると糖尿病の状態を悪くすると言われています。

また、歯周病と心臓病・肺炎・低体重児出産・骨粗鬆症等との関連も指摘されています。



「糖尿病」と「歯周病」
は相思相愛！！

歯周病



深い関係が指摘

潜在的な影響が指摘

影響について報告



糖尿病
喫煙



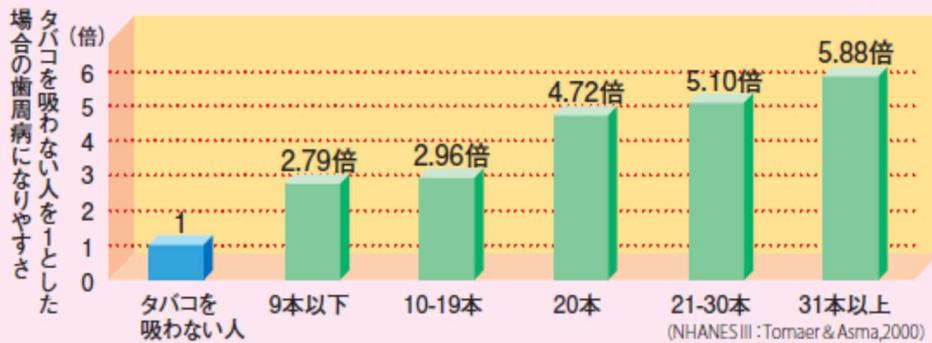
骨粗鬆症
社会的心理
的ストレス



肺炎
動脈疾患
低体重児出産
感染性心内膜炎

歯周病の最大のリスクは喫煙！！

ヘビースモーカーだと歯周病に5倍以上なりやすい
1日あたりの喫煙本数と歯周病の関係



タバコを吸うとニコチンなどの有害物質が歯や歯ぐきに悪影響を与え、体の抵抗力を弱めたり、末梢の血管を収縮させ、歯ぐきの血液循環を悪くしたりします。

(8020 推進財団 HP より)

★家族にタバコを吸う人がいると、受動喫煙により子どもの歯ぐきが黒ずむ例もありますので注意が必要です★

令和5年9月版

一鳥取県中部地域歯科保健推進協議会



健口注意報！！



高齢者の1か月当たりの医療費は歯の本数が多いほど低かった！！

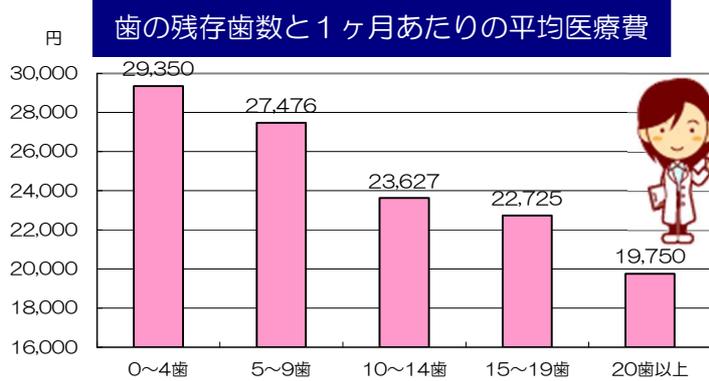
★年をとってもきちんと歯が残っている人の方が、年間医療費が少なくなる傾向があることが分かりました。★



＜香川県歯科医師会調査結果より＞

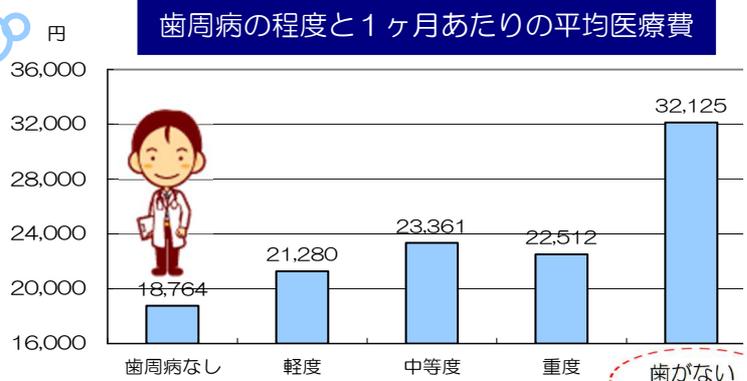


2005年2月に香川県内の歯科医院を受診した65歳以上の国民健康保険加入者のうち、その一年後に歯科以外でも受診した11,628人を対象に実施。年間医療費を歯の残存本数で5グループに分けて集計。



歯が20本以上残っている高齢者の1か月当たりの医療費は、歯が4本以下の高齢者に比べて約1万円少ないことが分かりました。

歯周病の程度別では「歯周病なし」が最も平均診療費が低く、歯周病に罹患していると高くなる傾向にあります。「歯がない人」は、3万円台と高額になっています。



あなたは達成できていますか 歯と口腔の健康づくりとっとりプラン

—目標達成年：令和5年度—

■主な目標■

★自分の歯を有する者の割合の増加

- 40歳で喪失歯なし 70%以上 (現状値：60.3%)
- 60歳で24歯以上 70%以上 (現状値：61.2%)
- 80歳で20歯以上 40%以上 (現状値：35.1%)

★歯間フロスの使用者を増やす 50%以上 (現状値：22.4%)

★デンタルフロスの使用者を増やす 50%以上 (現状値：29.3%)



＜歯とお口の健康リーフレット＞

(作成) 鳥取県中部地域歯科保健推進協議会

(監修) 一般社団法人鳥取県中部歯科医師会



リーフレットは、倉吉保健所ホームページからダウンロードできます。

とりネット (倉吉保健所 HP)